令和９年（2027 年）４月入学
令和９年（2027 年）10 月入学

宇　都　宮　大　学　大　学　院
地域創生科学研究科博士後期課程

第２期学生募集要項

一　般　選　抜
社会人特別選抜
外国人留学生特別選抜

宇都宮大学

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、 13 頁をご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予などについて、できるだけの配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、ぜひとも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

☆　主要日程

	一　般　選　抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人留学生特別選抜
インターネット出願事前登録期間	令和８年 11 月 18 日(水)～令和８年 11 月 25 日（水）15 時
出願書類受付期間	令和８年 11 月 20 日（金）から 11 月 25 日（水）まで 9 時から 16 時まで
試　験　日	令和８年 12 月 11 日（金） 9 時から
合格者発表	令和８年 12 月 23 日（水） 14 時予定

個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

① 入学者選抜、入学手続きなど入学までの一連の業務

② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務

③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

お問い合わせ先

〒321-8505　　宇都宮市峰町 350
宇都宮大学学務部入試課　電話　028-649-5405

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6		STEP 7
事前準備	出願サイトにアクセス	マイページの登録	出願内容の登録	入学検定料の支払い	必要書類の郵送	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…成績証明書、顔写真データ、など

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-gs/** からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信 >** をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、 出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

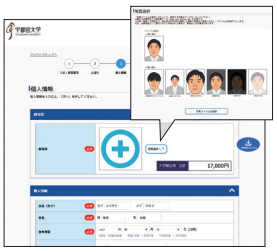
STEP 4 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②入試選択と留意事項の確認

③志望学部等の選択



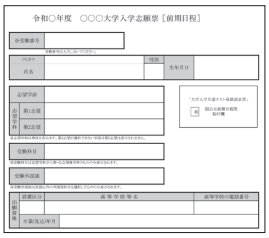
④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報（氏名･住所等）の
入力

⑥出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。

⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ（13桁）	

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ（11桁）	

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ（11桁）	
確認番号 メモ（6桁）	
収納機関番号 （5桁）	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正･変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いが完了します。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINI STOP
マルチコピー機　FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える	「お客様番号（11桁）」入力	「お客様番号（11桁）」入力	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号（6桁）」入力	「確認番号（6桁）」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う		発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る		払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る		

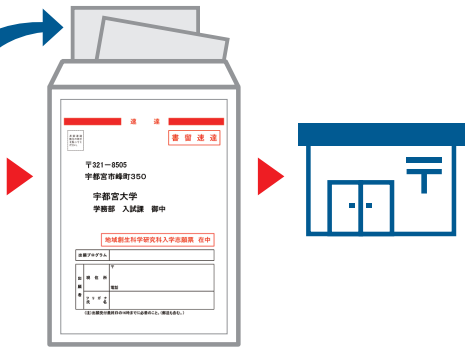
4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 6 必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照して準備してください。
インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも大学等に請求いただく書類や本学のホームページから様式をダウンロードして作成する書類がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法

(1) マイページに表示された 願書等の印刷 のボタンをクリックしてください。
(2) お支払いが正常に完了すると 願書等の印刷 のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払は出願締切日15時（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7 受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。

目　次

○　地域創生科学研究科の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
○　地域創生科学研究科博士後期課程 アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・・3
○　地域創生科学研究科博士後期課程 学生募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
Ⅰ．募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
Ⅱ．入学者選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
1.　出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
2.　出願資格審査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
3.　出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
4.　出願書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
5.　受験票の印刷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
6.　入学者選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
7.　試験日時及び試験場等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
8.　合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
9.　入学辞退について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
10. 安全保障輸出管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
11. 疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談・・・12
Ⅲ．入学検定料の免除について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
Ⅳ．入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
1.　入学手続期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
2.　提出書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
3.　入学料及び授業料等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
4.　入学料・授業料の免除及び徴収猶予・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
Ⅴ．日本学生支援機構奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
○　出願資格の認定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
○　大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について・・・・・・・・・・・・・・・・16
○　長期履修学生制度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
○　試験場への案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
○　主指導教員として学生を募集する予定の教員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

地域創生科学研究科の概要

【理念】

21 世紀の課題を解決して持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献するために、社会デザインとイノベーションの創造を支える高度な人材を育成するとともに、STI for SDGs に資する特長的で強みのある研究を推進する。

特に、博士後期課程では、融合・多様化する分野に積極的に対応できる、幅広い知識と技術に支えられた、より高い専門性を備える自立した人材を養成し、地域や社会の課題解決に資する先端融合研究を推進することにより、学際新領域を開拓する教育研究を展開する。

【地域創生科学研究科における「地域」】

本研究科では、『地域とは、単純に、地理的・物理的意味を単位とする特定の空間や範囲を示すものではなく、問題意識に応じて設定され、可変的で多様な性格を有する教育研究の対象を指しており、「ローカル／リージョナル／ナショナル／グローバル」の連結関係のなかで構成されるもの』と定義しています。

栃木県、北関東に位置する大学として、地元の自治体、産業界、住民に資する取り組みを積極的に展開しながら、それぞれが重点を置く「地域」に対応したフィールド、具体的には、コミュニティレベルから、都市や地域、国土全体そして国際的なレベルまでを想定した幅広いフィールドを対象として教育研究を推進します。

【専攻・学位プログラム】

先端融合科学専攻（入学定員：25 名）

学位プログラム	授与学位
オプティクスバイオデザインプログラム	博士（光工学）、博士（農学）、博士（工学）
先端工学システムデザインプログラム	博士（工学）
グローバル地域デザインプログラム	博士（国際学）、博士（学術）、博士（工学）

【育成する人材像】

○先端融合科学専攻

3C 精神（Challenge、Change、Contribution）＋１（Creation：創造的思考力・実践力）を持ち、 STI for SDGs に資する高度専門職業人を育成する。

既に有する幅広い知識と教養のもと、新しく発展する分野へ積極的に関るとともに、今日の複合的な社会課題における、自らの専門性の意義と位置づけを理解し、複数の分野の研究者等と共創的に課題解決に取組め、将来指導者となり得る、高度な専門力を有する逆Ｔ字型の人材を育成する。

○オプティクスバイオデザインプログラム

本学の強みとする光工学と分子農学の分野を中心に、目に見えない遺伝情報と目に見える生命現象、すなわちビッグデータである遺伝子の解析と農業現場での応用が結びつくような生物科学と、多様な観点からの光工学技術、そして生物学と光学を結ぶ化学の分野を融合することにより、持続可能な社会の発展に貢献する技術者、研究者として最先端分野の発展を担う人材を育成する。

○先端工学システムデザインプログラム

本学の強みとする感性工学やロボティクスを中心に、地域、社会における物質、環境、電気電子、情報、機械、建築、まちづくり分野のはたすべき役割：基礎的研究から社会への普及、生活空間での利用・応用、人間との共生等、実用化面も理解した国際的に通用する高度な先端技術者の育成のため、多彩な分野の融合を行うことにより、幅広い教養に基づく先進的イノベーションを創造できる人材を育成する。

○グローバル地域デザインプログラム

本学の強みとする多文化共生、地域デザインを中心に、グローバル化に対応した持続可能な発展や豊かさと平和の実現に向けた社会づくりのために、国際的な協力・開発・ガバナンスから地域社会の構築までの現状と成り立ちを多様なスケールに対応した学際的で幅広い視点から理解し、多様な文化、地域を構成するコミュニティなどの社会的集団や制度、空間、システムなどをデザインする力、コミュニケーション力やグローバルな行動力を身に付けて国内外で先駆的・指導的に活躍できる人材を育成する。

地域創生科学研究科博士後期課程
アドミッション・ポリシー

１．求める学生像

○先端融合科学専攻

(1) 既に有する幅広い知識と教養のもと、一つの専門分野だけでなく、他分野に対する幅広い知識と興味を備えた人間性豊かで、常に新しく発展する分野へ積極的に対応できる人

(2) 独創性の高い創造力および柔軟な応用力のある学識、さらには広い国際感覚を備えて指導的立場で活躍することを志向する人

○オプティクスバイオデザインプログラム

(1) 幅広い基礎知識と教養を有し、光工学、分子農学、化学、各分野の高度な学修と博士論文研究の遂行に必要な修士課程修了レベルの学力を有する人

(2) 専門分野に加えて、多様な分野と融合した幅広い知識の獲得により、創造的な能力を身に付けたい人

(3) 地域や社会における自らの専門分野の役割の理解や地域社会に貢献することに強い関心と指導的立場で活躍する意欲を持つ人

○先端工学システムデザインプログラム

(1) 幅広い基礎知識と教養を有し、物質、環境、電気電子、情報、機械、建築、まちづくり、各分野の高度な学修と博士論文研究の遂行に必要な修士課程修了レベルの学力を有する人

(2) 専門分野に加えて、多様な分野と融合した幅広い知識の獲得により、創造的な能力を身に付けたい人

(3) 地域や社会における自らの専門分野の役割の理解や地域社会に貢献することに強い関心と指導的立場で活躍する意欲を持つ人

○グローバル地域デザインプログラム

(1) 幅広い基礎知識と教養を有し、多文化共生や地域デザイン、各分野の高度な学修と博士論文研究の遂行に必要な修士課程修了レベルの学力を有する人

(2) 専門分野に加えて、多様な分野と融合した幅広い知識の獲得により、創造的な能力を身に付けたい人

(3) 地域や社会における自らの専門分野の役割の理解や地域社会に貢献することに強い関心と指導的立場で活躍する意欲を持つ人

２．入学者選抜の基本方針

⑴ 博士論文研究に必要な基礎的学力と幅広い知識と教養、思考力を備えていること

⑵ 専門分野に対する熱意と能力に加えて、幅広い分野の修得に対する意欲も備えていること

⑶ 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力、倫理観を備えていること

令和９年４月入学
令和９年 10 月入学

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科
博士後期課程学生募集要項

Ⅰ．　募集人員

【令和９年４月入学】

専攻名	募集人員
先端融合科学専攻	25 名

【令和９年 10 月入学】

専攻名	募集人員
先端融合科学専攻	若干名

Ⅱ．　入学者選抜方法

1.　出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を取得した者及び入学時までに取得見込みの者

(2) 外国において、日本の修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び入学時までに取得見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び入学時までに取得見込みの者

(4) 日本国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び入学時までに取得見込みの者

(5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

2) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(6) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると、学長が認める者で、入学時までに 24 歳に達する者

2.　出願資格審査等

出願資格 (5)、(6) により出願しようとする者は、15 ページの「出願資格の認定について」を参照してください。

3.　出願手続

注意事項

志願者は、出願手続をする前に、希望指導教員と必ず事前に連絡を取り、入学後の研究テーマ・内容について相談をしてください。

事前相談は、入学後の研究活動やカリキュラムに関することに限ります。過去の試験問題に関する質問など入学試験に関することについては回答できません。また、過去の試験問題については公開していません。

(1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step1	学生募集要項の確認	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容をご確認ください。

▼

Step2	インターネット出願登録 (詳細は ii ページ)	下記のアドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-gs/)

▼

Step3	入学検定料の支払い (詳細は iv ページ)	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。

▼

Step4	必要書類の印刷	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。

▼

Step5	必要書類の送付	インターネット出願サイト及び本学ホームページから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「書留・速達」で郵送してください。

▼

Step6	受験票の印刷	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 出願期間

	出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
地域創生科学研究科 博士後期課程	令和8年11月20日(金) ～11月25日(水)	令和8年11月25日(水) 15時	令和8年11月25日(水) 16時

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の９時から16時までに持参してください。

〒３２１－８５０５　栃木県宇都宮市峰町３５０
宇都宮大学学務部入試課

(4) 入学検定料について

入学検定料　**３０，０００円**

インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

ただし、本学博士前期課程（修士課程）から引き続き博士後期課程へ志願する者にあっては不要です。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。

(5) 事前準備について

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備してください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 ＜ブラウザ＞ ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。 ※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧等は可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷をするための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。

メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに、以下の４回メールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真（データ）の用意	インターネット出願登録にあたって、顔写真データ（ファイル形式自由、２ＭＢまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前３か月以内に撮影した正面、上半身、 脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	インターネット出願サイトから印刷する様式以外の書類「卒業（見込）証明書」や「研究計画書」等を出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください。
角形２号封筒の用意	出願書類提出のために、市販の角形２号封筒（240mm×332mm）を用意してください。
様式印刷の用意（プリンタ、用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、Ａ４サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、ＰＰＣ用紙、ＯＡ共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）

4. 出願書類

・◇印の出願書類は本学ホームページ（入試情報）のページから様式をダウンロードしてください。https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/

・※印の出願書類は、本学ホームページ＜https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/doctoral-course/＞から本学所定の様式（Microsoft Word ファイル）をダウンロードし、必要事項を記入したものを A4 用紙に両面印刷して提出してください。なお、ダウンロードした本学所定様式のレイアウト変更、改変等は行わないようにご注意願います。

・現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。

・提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

・受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	注意事項
志　　願　　票	インターネット出願サイトから A4 サイズでカラー印刷してください。
成　績　証　明　書	出身大学の学長又は学部長（研究科長）が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、本学研究科博士前期課程（修士課程）修了見込みの者は、証明書自動発券機を利用し、厳封する必要はありません。 ①　出願資格（1）、（2）、（3）又は（4）のいずれかにより出願する者は、大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書 ②　出願資格（5）又は（6）により出願する者は、最終学校の成績証明書 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を修了した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
修士課程修了（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長（研究科長）が作成したものを提出してください。ただし、本学研究科博士前期課程（修士課程）修了（見込）者は不要です。 修士課程修了書が発行されない国や地域の大学等を修了した者は、出願前に学務部入試課へ必ず相談してください。
※修士学位論文要旨・研究経過報告書	本学所定様式により日本語 2,000 字程度または英語 1,000 words 程度で作成してください。 ①　修士の学位論文を提出した者：修士学位論文要旨 ②　①以外の者：研究経過報告書 <u>グローバル地域デザインプログラムを志望の者</u> グローバル地域デザインプログラムにおいては、修士論文要旨とともに修士論文の提出が必要な場合があるので、出願前に希望指導教員に必ず相談してください。
※　研　究　計　画　書	本学所定様式により日本語 2,000 字程度または英語 1,000 words 程度で作成してください。
◇入学検定料免除申請書 （免除申請者のみ）	①　国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を行う予定の者は、所定の届出により入学検定料を免除するので、出願前に必ず学務部入試課に問い合わせてください。 ②　地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、13 ページ「Ⅲ．　入学検定料の免除について」を参照し、「入学検定料免除申請書」を提出してください。

住　　民　　票 (日本に在住している外国人のみ)	日本国に在住している外国人は、市町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がない住民票を提出してください。ただし、本学に在学中の者（科目等履修生及び研究生を含む）は、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。日本に在住していない場合は、出願前に学務部入試課へ相談してください。
※ オンライン面接申出書	オンライン面接を希望する場合は必要事項を記入してください。
※ 受　験　許　可　書	① 出願時に他大学大学院博士後期課程に在籍中の者 当該大学院が発行したものを提出してください。 ② 社会人特別選抜の志願者 出願時に官公庁･企業･教育関係機関等に在職中の場合、勤務先の所属長等の承諾が必要となりますので、該当者は提出してください。（企業等側での事情により作成出来ないなどの事情がございましたら、予め学務部入試課までご連絡ください。）

・外国人留学生（国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生を除く。）が出願する場合は、以下の書類を出願書類と共に提出すること。

提出書類等	記入要領等	
＊経費支弁書	本学所定の用紙に日本語又は英語で必要事項を記入し、出願時に出願書類と共に提出すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、Ａ４判用紙で両面印刷した様式に記入、又はダウンロードしたファイルへの文字入力で作成しＡ４判用紙で両面印刷した様式に署名したものを提出すること。	
	① ２．⑴学費	本学の授業料の金額を記載すること。 ＊参考　本学授業料 前期２６７，９００円　後期２６７，９００円
	② ２．⑵生活費	学費以外で１か月に負担される生活費の目安を記載すること。学生のアルバイトを前提としたものは認められません。
送金証明書又は本人名義の預金通帳の写し	送金事実、経費支弁事実が記載されたものの写しを、出願時に出願書類と共に提出すること。	

※ 上記２点の提出書類は、出入国在留管理庁から求められている経費支弁能力確認のための手続きで使用しますので、入試や合否判定には一切使用しません。

5.　受験票の印刷

出願受付期間終了後に受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスに通知します。受験票はカラー印刷して試験当日に持参してください。

6.　入学者選抜方法

【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜　共通】

・入学者の選抜は、面接（口述試験を含む）及び提出書類を総合して行います。
・面接（口述試験を含む）は、対面またはオンラインにより実施し、口述試験は研究論文及び研究計画等についての発表、専門に関して試問します。
・オンライン面接を希望する場合は、志願票の面接方法において「オンライン面接」を選ぶとともに、オンライン面接申出書を提出してください。

【社会人特別選抜】

出願時に学籍を有しておらず、かつ入学時において 1 年以上の社会的経験（企業・官公庁・教育関係機関等での就業、自営、家事従事等の経験を含む）を有する者を対象として行います。

なお、地域創生科学研究科博士後期課程では、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を適用し、授業を夜間の時間帯等にも開講し、社会人学生の受講に便宜を図っています。（16 ページ「大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について」を参照してください。）

【外国人留学生特別選抜】

出願資格（1）、（2）、（4）、（5）又は（6）に該当する外国人留学生を対象として行います。

日本の大学を卒業し、さらに日本の大学院を修了した者及び出願資格認定審査を受けた者は、対象外となりますので一般選抜により出願してください。

7.　試験日時及び試験場等

(1) 試験日時

令和 8 年 12 月 11 日（金）　9:00～17:00 の間で当研究科の指定する時間
（詳細は、出願受付期間後、志願者へ連絡します。）

(2) 試験場等

① 対面による面接　宇都宮大学峰キャンパス又は陽東キャンパス
（詳細は、出願受付期間後、志願者へ連絡します。）

② オンラインによる面接　オンラインビデオ通話が可能なインターネット環境のある個室（面接中の第三者の同席は認められません。）

※オンライン面接の具体的な実施方法は、出願受付期間後、志願者へ連絡します。

8.　合格発表

令和８年 12 月 23 日（水）14 時 00 分予定

合格者の受験番号を本学ホームページ＜http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html＞に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

9.　入学辞退について

入学を辞退する場合は、速やかにその旨を学務部入試課までご連絡いただくとともに「入学辞退願」（様式任意）をご提出ください。

10.　安全保障輸出管理について

本学では、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「国立大学法人宇都宮大学安全保障輸出管理規程」を定め、安全保障輸出管理を行っています。

出願にあたっては、次のことをあらかじめご了承ください。

- 安全保障輸出管理に係る審査が行われることとなった場合、終了するまでに長い日数を要することがあります。また、その審査結果によっては希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合があります。
- 入学後、提供する技術や使用する機材等に制限が加わる場合があります。また、法律の改正などで規制の強化が行われると、それまでの研究が継続できなくなる場合があります。

11.　疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。 また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限

令和８年 11 月 11 日（水）17:00 まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載 https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/）に次の内容を記載し、医師の診断書（写しでも可とします。）を添えて学務部入試課へ提出してください。

① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯

② 志願予定の選抜の種類、専攻・学位プログラム名

③ 疾病・負傷や障がい等の内容・程度
④ 受験上の配慮を希望する事項
⑤ 修学上の配慮を希望する事項
⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
⑦ 日常生活の状況

Ⅲ. 入学検定料の免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

(1) 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当年度において日本国内で発生した災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

① 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

（ア） 全壊
（イ） 大規模半壊
（ウ） 半壊

② 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

(2) 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて申請してください。

① (1) ①に該当する者
罹災証明書、被災証明書等

② (1) ②に該当する者
ア 家計支持者が死亡した場合
家計支持者の死亡が確認できる書類
イ 家計支持者が行方不明となった場合
家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課までお問い合わせください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

Ⅳ.　入学手続

1.　入学手続期間

令和９年４月入学者にあっては令和９年３月中旬頃、令和９年 10 月入学者にあっては令和９年９月中旬頃を予定しています。

詳細については、合格通知書と併せてお知らせします。

2.　提出書類

提出書類は、本学の指定する書類とします。「受験票」は入学手続き時に必要となるので、紛失しないよう大切に保管してください。

また、出願資格（1）、(2)、(3）又は（4）の取得見込みにより出願した者が入学試験に合格したときは、入学するまでに「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を提出してください。入学するまでに修士の学位、専門職学位又はそれらの学位に相当する学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。

3.　入学料及び授業料等

（1）入学料及び授業料等

入学料　　282,000 円

授業料　　535,800 円（年額）

※　入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※　在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※　授業料は、半期分（267,900 円）をそれぞれ指定期日までに納付してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（3 年間分）〔令和８年４月現在〕

3,620 円

4.　入学料・授業料の免除及び徴収猶予

(1) 特別な事情により学費の納入が困難であると認められた場合には、入学料又は授業料の全額又は一部を免除することがあります。

(2) 所定の期日までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた場合には、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

詳細は、学務部陽東学務課に相談してください。

Ⅴ.　日本学生支援機構奨学金

奨学金を希望される方は、本学ホームページをご覧ください。

https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/exemption.php

出願資格の認定について

1.　資格審査の対象者

次の（1）又は（2）に該当する者

（1）学士の学位を有し、次の要件を満たす者

①　大学を卒業した後、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者又は2年以上の実務経験を有する者

②　著者、学術論文、学術講演、学術報告及び特許などにおいて修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者

（2）短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校及び各種専門学校等を卒業又は修了した者並びにその他の教育施設の修了者等で、次の①～③のいずれかに該当し、④の要件を満たす者

①　短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科を修了した者で、大学、研究所等で2年以上研究に従事した者又は2年以上の実務経験等を有する者

②　短期大学、高等専門学校又は専修学校の専門課程を卒業又は修了した者等、大学編入学資格を有する者で、大学、研究所等で4年以上研究に従事した者又は4年以上の実務経験等を有する者

③　高等学校、大学編入学資格の無い専修学校又は各種専門学校等を卒業又は修了した者及びその他の教育施設の修了者等で、大学、研究所等で6年以上研究に従事した者又は6年以上の実務経験等を有する者

④　著者、学術論文、学術講演、学術報告及び特許などにおいて、修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者

2.　申請方法等

資格審査対象者は出願資格の審査を行いますので、審査に必要な書類等を期日までに提出してください。

（1）　提出書類等

本学所定様式は、本学ホームページ＜https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/graduate-entrance-exam/doctoral-course/＞からダウンロードし、必要事項を記入して提出してください。

提出書類等	資格審査（1）該当者	資格審査（2）該当者	備考
入学試験出願資格認定審査申請書	○	○	本学所定様式
入学希望理由書		○	本学所定様式
経歴書	○	○	本学所定様式
学術論文等の要旨・研究経過報告書	○	○	本学所定様式
研究業績調書	○	○	本学所定様式

論　文　の　写　し　等	○	○	
最終学校の成績証明書		○	
最終学校の卒業（修了）証明書	○	○	
返信用封筒（長形３号）	○	○	住所氏名を明記し、410円切手貼付

(2) 申請受付期間

令和８年 11 月 11 日(水)まで（土、日及び祝日は除く）に学務部入試課に提出してください。なお、申請受付期間内に申請が間に合わない場合は、学務部入試課にお問い合わせください。また、本申請期間以前に出願資格を有すると認められた者は、その旨を令和８年 11 月 11 日(水）までに学務部入試課へお知らせください。

3.　審査結果等

(1) 審査は、宇都宮大学地域創生科学研究科において行い、結果は、令和８年 11 月 17 日（火）までに本人宛てに通知します。

(2) 出願資格を有すると認められた者は、令和８年 11 月 20 日（金）から 11 月 25 日（水）16 時までに所定の出願手続をしてください。

大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について

教育上特別の必要があると認められる場合には、入学後の履修について、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を認めることがあります。 本特例に基づき、地域創生科学研究科では必要に応じて、平日の夜間開講（通常の授業時間帯以降の時間帯（17 時 40 分から 20 時 50 分）及び土曜日開講（8 時 40 分から 17 時 30 分）、修了課題に必要な研究・調査等の期間の集約など、配慮をいたします。また、博士論文作成等のための研究活動は、指導教員が、企業等が所有する研究に係る優れた施設や設備を用いた方がより効果が上がると認める場合は、勤務する企業等においても行うことができます。

教育方法の特例措置を希望する場合は、 指導を希望する教員と実施方法等について必ず出願前に相談してください。

※大学院設置基準第 14 条

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間 又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

長期履修学生制度について

本制度は、職業を有していること等による就学の困難さに対して、標準修業年限（3 年）を超えて一定期間（最長 6 年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了できるようにするものです。教育課程表や履修すべき総単位数は 3 年で修了するものと同じであるから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

長期履修学生として認められると、通常 3 年の大学院修了年限のところを、例えば 4 年間で修了することができます。この間の授業料は、3 年分を 4 年に分割して納入することになります。すなわち 3 年間（6 学期）の授業料を 4 年間（8 学期）に分割して納めるために、年当たりの負担額は少なくなります。（ただし、授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。）

長期履修学生として認められるためには、宇都宮大学長に必要書類を添付の上、申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて 9 年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については、留年扱いとなって、通常の授業料が適用されることになります。また、在学中に新規申請することや、許可された長期履修期間を 1 回に限り延長（4 年を 5 年に）又は短縮（5 年を 4 年に）することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

1. 新規申請

（1）入学時に申請する場合・・・入学手続き完了の日から当該年度の 3 月末日まで（4 月入学者）
入学手続き完了の日から当該年度の 9 月末日まで（10 月入学者）

（2）在学中に申請する場合・・・長期履修開始年度の 1 月末日まで（4 月入学者）
長期履修開始年度の 7 月末日まで（10 月入学者）

2. 長期履修期間の延長及び短縮

長期履修期間の延長を希望する場合は許可されている長期履修期間が終了する月の前々月末日までに、短縮を希望する場合は修了を予定する月の前々月末日までに長期履修期間変更願を提出してください。

本制度に関する問い合わせは、学務部陽東学務課において受け付けます。なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

【参考】

宇都宮大学大学院長期履修学生規程（抜粋）

(長期履修期間)

第５条　長期履修学生として、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間(以下「長期履修期間」という。)は、原則として１年単位とし、次の各号に掲げるとおりとする。

(1)　入学者のうち長期履修学生として認められた者については、博士前期課程及び専門職学位課程にあっては４年以内とし、博士後期課程にあっては６年以内とする。

(2)　長期履修期間中に認められた休学期間は、長期履修期間に算入しない。

(在学期間)

第６条　長期履修学生の在学期間は、長期履修期間に博士前期課程及び専門職学位課程にあっては２年、博士後期課程にあっては３年を加えた期間を超えることができない。

２　前項の規定にかかわらず、再入学後の在学期間は、同項に規定する在学期間から退学前の在学年数(1 年未満の端数は切り捨てる。)を控除した年数を超えることができない。

(長期履修期間の延長及び短縮)

第７条　長期履修学生として許可された長期履修期間の延長又は短縮(長期履修学生の取りやめを含む。)については、第５条に定める範囲内において専攻教授会等が必要と認めた場合に限り、１回を限度にこれを行うことができる。

２　前項の規定により長期履修期間の延長又は短縮を希望する者は、第３条第２項第２号に準じた期間内に、「長期履修期間変更願」（様式第３号）を学長に提出するものとする。

試験場への案内

東京都内から本学最寄駅までのアクセス

○東京駅からＪＲ宇都宮駅　ＪＲ東北新幹線利用　約１時間
　ＪＲ上野東京ライン、宇都宮線利用　約２時間
○新宿駅からＪＲ宇都宮駅　ＪＲ湘南新宿ライン、東北新幹線利用（大宮駅乗換）　約１時間 15 分
　ＪＲ湘南新宿ライン、宇都宮線利用　約１時間 50 分
○浅草駅から東武宇都宮駅　東武ｽｶｲﾂﾘｰﾗｲﾝ、東武日光線、東武宇都宮線利用（曳舟、 南栗橋、 新栃木駅など乗換）
　約２時間 30 分
○羽田空港からＪＲ宇都宮駅　東京空港交通（高速バス）利用　約３時間

仙台から本学最寄駅までの所要時間

○仙台駅からＪＲ宇都宮駅　ＪＲ東北新幹線利用　約１時間 20 分

◎宇都宮大学峰キャンパス試験場（ＪＲ宇都宮駅から約 2.2 ㎞）

●関東自動車　（真岡 、益子 、星の杜中学校・高等学校 、ベルモール行など）
　ＪＲ宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約10分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分
　東武宇都宮駅バス乗場から乗車約20分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分
●関東自動車　（卸団地循環、ベルモール行）
　ＪＲ宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「宇都宮大学前」下車　徒歩１分
●宇都宮ライトレール（ライトライン）（芳賀・高根沢工業団地行など）
　宇都宮駅東口から乗車約６分「峰」下車　徒歩12分

◎宇都宮大学陽東キャンパス試験場（ＪＲ宇都宮駅から約 4.2 ㎞）

●宇都宮ライトレール（ライトライン）（芳賀・高根沢工業団地行など）
　宇都宮駅東口から乗車約10分「宇都宮大学陽東キャンパス」下車　徒歩９分
●関東自動車　（真岡 、益子 、星の杜中学校・高等学校 、ベルモール行など）
　ＪＲ宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約15分「工学部前」下車　徒歩６分
　東武宇都宮駅バス乗場から乗車約25分「工学部前」下車　徒歩６分
● 関東自動車　（ベルモール行）
　ＪＲ宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「工学部前」下車　徒歩６分

主指導教員として学生を募集する予定の教員

※印の教員は、標準修業年限（3 年）以内に定年を迎えるため、主指導教員として希望する場合には、充分に相談を行ってください。

オプティクスバイオデザインプログラム

職　名	氏　　名	研　究　内　容
教授 Professor	飯村　兼一 IIMURA, Ken-ichi	有機超薄膜の物性と構造，および機能化に関する教育と研究
教授 Professor	大谷　幸利　※ OTANI, Yukitoshi	光計測，偏光科学，偏光工学，オプトメカトロニクス
教授 Professor	大庭　亨 OBA, Toru	抗がん剤や，細胞制御用分子プローブ，蛍光プローブの開発
教授 Professor	加藤　紀弘 KATO, Norihiro	機能性高分子・環境応答性高分子ゲルの開発と生物工学への応用に関する教育・研究
教授 Professor	児玉　豊 KODAMA, Yutaka	植物のオルガネラ運動に関する研究
教授 Professor	佐藤　剛史 SATO, Takafumi	超臨界流体・膜を利用した反応・分離操作による高効率プロセスの開発
教授 Professor	佐藤　正秀 SATO, Masahide	界面化学的手法による異相界面での熱・物質移動が関与する各種プロセスの制御と最適化
教授 Professor	佐藤　美恵 SATO, Mie	映像提示技術，ヒューマンインタフェース，画像処理
教授 Professor	手塚　慶太郎 TEZUKA, Keitaro	機能性無機材料の合成と物性
教授 Professor	ネイザン　ヘーガン HAGEN, Nathan Adrian	分光イメージング，紫外線イメージング，赤外線イメージング，光工学システム設計，計算センシング，システムの統計学解析
教授 Professor	早﨑　芳夫 HAYASAKI, Yoshio	情報フォトニクス，計算機ホログラフィ，AI 光学，レーザーマイクロ加工，体積的ディスプレイ，ディジタルホログラフィ，超高速イメージング
教授 Professor.	古澤　毅 FURUSAWA, Takeshi	触媒化学と化学工学の融合による新規反応系の構築とそれに用いる触媒/高機能材料の開発
教授 Professor	山本　裕紹 YAMAMOTO, Hirotsugu	３D ディスプレイ，奥行き知覚，光暗号を用いた情報表示技術，ディジタルサイネージ
准教授 Associate Prof.	伊藤　智志 ITO, Satoshi	新規機能性有機化合物（色素，顔料，蛍光色素，有機半導体，有機太陽電池，有機 EL）の合成に関する研究
准教授 Associate Prof.	刈込　道徳 KARIKOMI, Michinori	新規合成反応の開発とそれを用いた特異な構造を有する有機化合物の合成

オプティクスバイオデザインプログラム

職名	氏　　名	研　究　内　容
准教授 Associate Prof.	篠田　一馬 SHINODA, Kazuma	光画像情報の撮影・処理・応用に関する研究
准教授 Associate Prof.	鈴木　智大 SUZUKI, Tomohiro	天然物の単離・構造決定，次世代シーケンサーを用いた遺伝子解析
准教授 Associate Prof.	玉田　洋介 TAMADA, Yosuke	バイオイメージングと光細胞操作による新しい生命現象の発見と解明
准教授 Associate Prof.	爲末 真吾 TAMESUE, Shingo	超分子的結合を利用した高分子機能材料の開発
准教授 Associate Prof.	長谷川　智士 HASEGAWA,Satoshi	超短パルスレーザーによる物質加工と光計測・AI 光学の融合
准教授 Associate Prof.	茨田　大輔 BARADA, Daisuke	ベクトル波ホログラフィ，光・力学エネルギー変換，時空間光信号解析，一般座標光学
准教授 Associate Prof.	松本　太輝 MATSUMOTO, Taki	無機および無機/有機複合材料の液相合成，光機能性材料（光触媒，光学コーティング等）の創出と高度化
准教授 Associate Prof.	宮川　一志 MIYAKAWA, Hitoshi	節足動物の環境応答の分子機構とその進化過程の解明
准教授 Associate Prof.	諸星　知広 MOROHOSHI, Tomohiro	微生物間コミュニケーションの遺伝子レベルでの解析と病原性抑制技術への応用

先端工学システムデザインプログラム

職名	氏　　名	研　究　内　容
教授 Professor	石川　智治 ISHIKAWA, Tomoharu	多感覚統合のモデル化と応用，多様な感性に適応した情報呈示技術の開発，快適な視聴環境の実現
教授 Professor	石田　邦夫 ISHIDA, Kunio	光励起・発光過程及び励起状態緩和過程に関する理論計算と大規模数値シミュレーション
教授 Professor	海野　寿康 UNNO, Toshiyasu	土質工学，地盤工学
教授 Professor	大津　金光 OOTSU, Kanemitsu	計算機システム，並列処理，最適化コンパイラ，ソフトウェア解析
教授 Professor	尾崎　功一 OZAKI, Koichi	ロボット・ビジョン，移動ロボット，知能システム，農業ロボット，ロボットデザイン
教授 Professor	小池　正史 KOIKE, Masafumi	素粒子論，数理物理学
教授 Professor	古神　義則 KOGAMI, Yoshinori	マイクロ波ミリ波用回路技術・材料評価技術
教授 Professor	嶋脇　聡 SHIMAWAKI, Satoshi	生体計測，福祉工学，筋骨格系マルチボディシミュレーション，バイオメカニクス，医用工学
教授 Professor	杉山　央 SUGIYAMA, Hisashi	セメントの水和反応メカニズム，コンクリートの強度発現，プレキャストコンクリートの養生の最適化
教授 Professor	関川　宗久 SEKIKAWA, Munehisa	非線形ダイナミクス，振動子の同期現象，カオス
教授 Professor	外山　史 TOYAMA, Fubito	進化計算，画像処理，パターン認識
教授 Professor	中島　史郎　※ NAKAJIMA, Shiro	建築の再生・資源利用 木造建築物と木質構造材料の性能評価
教授 Professor	長谷川　光司 HASEGAWA, Hiroshi	音響信号処理，音響計測，波動理論とその応用
教授 Professor	長谷川　まどか HASEGAWA, Madoka	画像符号化，画像処理，電子透かし，ＷＥＢユーザビリティ，ユーザブルセキュリティ
教授 Professor	東口　武史 HIGASHIGUCHI, Takeshi	次世代半導体リソグラフィーEUV 光源，短波長レーザー，超短パルスレーザー
教授 Professor	平田　光男 HIRATA, Mitsuo	ロバスト制御理論，サンプル値制御理論，高速・高精度位置決め制御，及びそれらの産業応用
教授 Professor	藤倉　修一 FUJIKURA, Shuichi	橋梁構造物の地震時動的挙動および免震制震構造の動的応答特性の研究，高い耐震性能を有する構造の開発
教授 Professor	馬渕　豊 MABUCHI, Yutaka	マイクロ・ナノ工学に基づく摩擦制御 伝熱/断熱性に優れる機能表面
教授 Professor	矢嶋　徹　※ YAJIMA, Tetsu	数理物理学，計算機物理学及び無限自由度可積分系の解析
教授 Professor	吉田　勝俊 YOSHIDA, Katsutoshi	ヒューマンダイナミクス，非線形力学，確率力学

先端工学システムデザインプログラム

准教授 Associate Prof.	東　剛人 AZUMA, Takehito	システム制御理論とネットワーキングやシステムバイオロジーへの応用研究
准教授 Associate Prof.	飯村 耕介 IIMURA, KOSUKE	海岸工学，河川工学
准教授 Associate Prof.	柏倉　隆之 KASHIWAKURA, Takayuki	固体内部の電子状態分析技術の開発，光電子分光およびX線発光分光に関する研究
准教授 Associate Prof.	佐久間　洋志 SAKUMA, Hiroshi	先端計測機器開発，結晶構造解析，薄膜・ナノ粒子製造装置開発
准教授 Associate Prof.	佐藤　隆之介 SATO, Ryunosuke	メカノケミカルポリシングによる平坦化加工，ナノマシニング，超精密研削・切削加工
准教授 Associate Prof.	清水　隆志 SHIMIZU, Takashi	マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ波用回路技術・材料評価技術に関する研究
准教授 Associate Prof.	鈴木 雅康 SUZUKI, Masayasu	先端的制御理論およびそれらの産業応用に関する研究
准教授 Associate Prof.	清木　隆文 SEIKI, Takafumi	岩盤構造物の構造安定性および長期安定性評価，地下空間の有効利用法
准教授 Associate Prof.	中野　達也 NAKANO, Tatsuya	鋼構造建築物における接合部の力学性能の評価と向上に関する研究ならびに既存鋼構造建築物の耐震補強・改修に関する設計・施工法の開発
准教授 Associate Prof.	藤井　雅弘 FUJII, Masahiro	無線通信システム，情報通信ネットワーク，ユビキタスコミュニケーション
准教授 Associate Prof.	藤本　郷史 FUJIMOTO, Satoshi	既存建築物ストックの管理・分析 既存建築物ストックの維持管理とモニタリング
准教授 Associate Prof.	星野　智史 HOSHINO, Satoshi	ロボティクスと人工知能
准教授 Associate Prof.	森　大毅 MORI, Hiroki	音声コミュニケーションの性質解明とモデル化，およびマンマシンインタラクションの高度化への応用
准教授 Associate Prof.	森　博志 MORI, Hiroshi	コンピュータグラフィックス，画像処理
准教授 Associate Prof.	谷島　尚宏 YAJIMA, Takahiro	非線形力学系及び連続体力学に対する幾何学的研究
准教授 Associate Prof.	八巻　和宏 YAMAKI, Kazuhiro	量子機能材料の合成・評価とデバイス開発
准教授 Associate Prof.	山本　篤史郎 YAMAMOTO, Tokujiro	材料組織・原子配列制御による新機能・構造材料創製ならびに評価，材料物性，材料組織，材料評価
准教授 Associate Prof.	依田　秀彦 YODA, Hidehiko	光通信や光情報処理に必要な光エレクトロニクスデバイス・光学薄膜デバイスの開発
准教授 Associate Prof.	渡邊　信一 WATANABE, Shinichi	人間の心理状態の定量化，工学教育の教授法および教育効果の評価方法

グローバル地域デザインプログラム

職名	氏　　名	研　究　内　容
教授 Professor	石井　大一朗 ISHII, Daiichiro	コミュニティ政策，市民参加，非営利組織論
教授 Professor	石川　隆行 ISHIKAWA, Takayuki	発達心理学，幼児期から老年期までの社会性と感情発達
教授 Professor	石川　由美子　※ ISHIKAWA, Yumiko	障害児心理学，臨床発達心理学，アーティファクト（絵本）を媒介としたコミュニケーション発達研究
教授 Professor	上原　秀一 UEHARA, Shuichi	道徳教育，教師教育，比較教育
教授 Professor	大森　宣暁 OHMORI, Nobuaki	都市交通計画，人の活動・交通行動分析，バリアフリーのまちづくり
教授 Professor	大森　玲子 OHMORI, Reiko	食生活学，食育，健康づくり
教授 Professor	阪本　公美子 SAKAMOTO, Kumiko	地域研究（アフリカ），社会開発，民族植物学
教授 Professor	佐藤　栄治 SATOH, Eiji	医療，福祉（介護，障碍，保育）に関わる施設立地，サービス量の最適化
教授 Professor	清水　奈名子 SHIMIZU, Nanako	国際関係論，国際機構論
教授 Professor	髙橋　俊守 TAKAHASHI, Toshimori	地域生態学，地理情報システム（GIS），環境リモートセンシング
教授 Professor	髙橋　若菜 TAKAHASHI, Wakana	地球環境政治，比較環境政治
教授 Professor	松尾　昌樹 MATSUO, Masaki	政治経済学，中東地域研究
教授 Professor	横尾　昇剛 YOKOO, Noriyoshi	建築・都市の省エネルギーシステム
教授 Professor	米山　正文 YONEYAMA, Masafumi	19 世紀米国文学
准教授 Associate Prof.	出羽　尚 IZUHA, Takashi	美術史，風景画・イギリス文化に関する研究
准教授 Associate Prof.	大野　斉子 ONO, Tokiko	ロシア文学・文化
准教授 Associate Prof.	長田　哲平 OSADA, Teppei	都市計画，交通計画，ロジスティクス
准教授 Associate Prof.	古賀　誉章 KOGA, Takaaki	建築安全，環境心理，建築計画，建築設計
准教授 Associate Prof.	古村　学 KOMURA, Manabu	村落社会学，社会人類学，知識社会学
准教授 Associate Prof.	近藤　伸也 KONDO, Shinya	防災マネジメント，防災教育工学

グローバル地域デザインプログラム

准教授 Associate Prof.	スエヨシ　アナ SUEYOSHI, Ana	ラテンアメリカ政治経済論，日本における南米系移民論，日系人スタディス
准教授 Associate Prof.	鈴木　富之 SUZUKI, Tomiyuki	観光地域の形成と変容に関する人文地理学的研究
准教授 Associate Prof.	髙山　慶子 TAKAYAMA, Keiko	日本近世史
准教授 Associate Prof.	高山　道代 TAKAYAMA, Michiyo	日本語学，日本語史
准教授 Associate Prof.	立花　有希 TACHIBANA, Yuki	比較教育学，ドイツにおける移民の子どもの教育
准教授 Associate Prof.	中川　敦 NAKAGAWA, Atsushi	会話分析，エスノメソドロジー，高齢福祉場面の相互行為
准教授 Associate Prof.	藤井　広重 FUJII, Hiroshige	国際人権・人道法，武力紛争と平和構築，アフリカ政治
准教授 Associate Prof.	松村　史紀 MATSUMURA, Fuminori	東アジアの国際政治，現代中国政治外交
准教授 Associate Prof.	三田　妃路佳 MITA, Hiroka	政策過程，政策転換の要因分析，規制・規制緩和，中央・地方関係
准教授 Associate Prof.	若園　雄志郎 WAKAZONO, Yushiro	社会教育，マイノリティ教育